



日本実験動物技術者協会 関東支部
平成28年度総会・第42回懇話会
プログラム

【懇話会・総会参加の皆様へ】

今大会も皆様に、リラックスした雰囲気の中で有意義な情報交換を行って頂くために、ノーネクタイ、カジュアルな軽装でのご参加下さい。当日はスタッフも軽装で対応させていただきますことを、ご了承下さい。

本総会・懇話会の開催に関する情報は、
日本実験動物技術者協会関東支部 HP (<http://www.jaeat-kanto.jp/>) をご確認ください。

会 期： 2017年 3月 18日(土曜日)
9:55～17:20(受付開始 9時 30分)

場 所： 北とぴあ ペガサスホール
(<http://www.hokutopia.jp/>)

◆ 開会の辞 9:55～10:00

第42回懇話会会長 石田 有香
(国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所)

◆ 一般演題(口頭発表) 10:00～10:40 会場:ペガサスホール

1. 攻撃性が強い動物(ラット)の馴化方法の検討とその評価
○藤岡繁¹、植村広行¹、福岡詩織¹、久光徹吉¹、戸高玲奈²、石橋保¹
1 株式会社武田ラビックス、2 ハムリー株式会社
2. 床敷きの性能比較
○南久松丈晴¹、小野麻衣子¹、柴田さやか²、大澤加奈¹、林清華²、
須原哲也¹、樋口真人¹
1 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 脳機能イメージング研究部、2 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 分子イメージング診断治療研究部
3. ペントバルビタールと塩酸メドミジンの2種混合麻酔薬による、マウス全身麻酔法の検討
○大竹俊男¹、手島健一²、板井元²、鎌田圭輔²、永岩義規²、松本浩司¹、
熊谷慶子¹、森田純¹、鶴飼学¹
1 慶應義塾大学医学部動物実験センター、2 株式会社ジェー・エー・シー

4. HVJ Envelope Cell Fusion kit を用いた異属間体細胞核移植操作による再構築卵子の作製

○東里香¹、村井仁志²、小笠原里奈³、小木曾力³、鷺津朱理³、宮下実⁴、
宮本圭³、細井美彦^{1,3,5}、安齋政幸^{1,5}

1 近畿大学大学院、2 富山市ファミリーパーク、3 近畿大学生物理工学部、

4 宇部市ときわ動物園、5 近畿大学先端技術総合研究所

◆ 平成 28 年度総会 10:50～12:20 会場:ペガサスホール

◆ シンポジウム 13:30～17:15 会場:ペガサスホール

テーマ:「動物福祉の実践3 ～技術者が説く実験計画書～」

<基調講演>「実験動物技術としての動物実験計画審査」

山縣 永督 (三協ラボサービス株式会社)

<教育講演>「飼育技術者が行う看護的飼育ケアの実際

ー実験動物福祉の観点からの動物実験計画書の紹介ー」

末田 輝子 (国立大学法人 東北大学)

<話題提起> 中井 恒宏 (株式会社ケー・エー・シー)

高橋 良子 (株式会社ゼリアエコテック)

野田 義博 (地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター)

武智 眞由美 (国立大学法人 島根大学)

大竹 俊男 (慶應義塾大学)

<総合討論> シンポジストと会場参加者との意見交換

◆ 閉会の辞 17:15～17:20

関東支部支部長 江藤 智生 (公益財団法人 実験動物中央研究所)

◆ ウェイティングタイム 17:30～18:00 会場:リハーサル室

支部協賛会員による PR タイム

◆ 懇親会 18:00～20:00 会場:ペガサスホール

【懇話会事務局】

株式会社ジェー・エー・シー

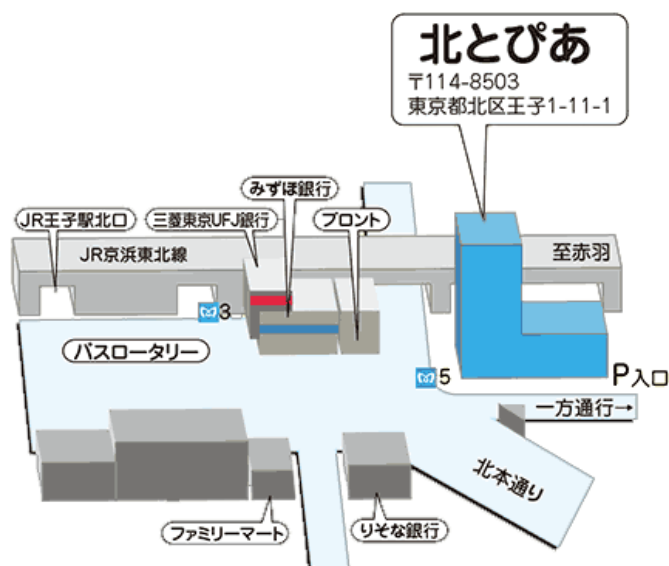
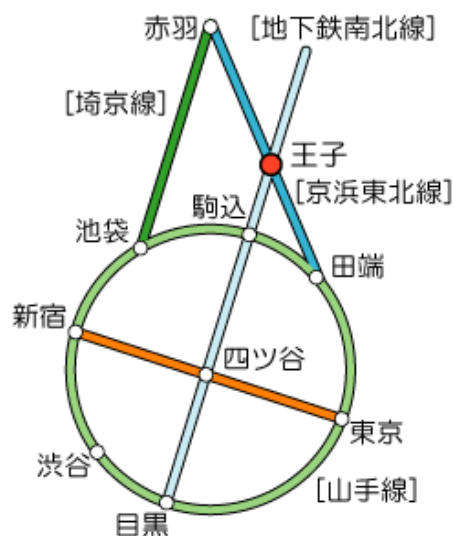
福嶋 章義

E-mail:42konwakai-jimukyoku@jaeat-kanto.jp

【会場へのアクセス】

鉄道でのアクセス

王子駅までの所要時間
東京駅から約25分
(京浜東北線)
新宿駅から約40分
(山手線田端で京浜東北線に乗換え)
目黒駅から約35分
(地下鉄南北線)



JR京浜東北線
王子駅下車北口より徒歩2分

地下鉄南北線
王子駅下車5番出口直結

都電荒川線
王子駅前駅より徒歩5分

引用元：北とぴあ HP

平成 27 年 1 月号

発行者 支部長 江藤 智生

発行所 日本実験動物技術者協会 関東支部

〒160-0016 東京都信濃町 35

慶應義塾大学医学部動物実験センター内

TEL/FAX:03-3353-7703

印刷所 株式会社プリントボーイ